

# 外郭団体基本情報

【監理団体用】

2021年4月1日現在

## 1. 団体概要

団体名	一般財団法人まちだ観光協会		2022年2月1日 外郭団体監理委員会資料2-1 町田市総務部総務課
法人番号	9012305002000		
所在地	町田市森野2-2-22		
電話	042-724-2108	FAX	
ホームページアドレス	https://www.city.machida.tokyo.jp/		
代表者	理事長 石坂 丈一		
設立年月日	2009年4月1日		
設立根拠法令	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律		
団体設立後から現在に至るまでの主な経緯	当財団は、町田市観光産業センターの施設管理を目的としていた町田市施設公社と、原町田観光協会が統合され、2009年4月に「一般財団法人まちだ観光協会」として設立された。その後、2013年4月に指定管理を受け、途中1回の更新を受け2024年3月までの間で、町田市観光事業及び施設の管理運営を行っている。		
設立目的	「自然・歴史・文化・産業を活用した心豊かな観光まちづくり」を目指し、新たな観光資源の掘り起こしと活用、既存観光資源の見直し並びに体系的な観光振興策の推進を目的として設立。		
事業内容	・観光に関する情報収集、企画立案及び調査分析 ・旅行業法に基づく旅行業 ・観光に関する各種講座、イベント等の企画及び実施 ・観光関連施設の管理運営及びその受託 ・観光に関する刊行物及び図書の発行等による情報提供 ・観光に関する土産品等の宣伝、販売及び開発奨励 等		
情報公開制度の有無	有	個人情報保護制度の有無	有
市所管課	総務部総務課		
外部監査の実施状況			
実施体制	町田市に準じた規定を2009年4月に整備済み。		
実施内容(又は実施しない理由)	規定に従い、2021年3月に実施済み。		

## 2. 資本金等

2021年3月31日現在

資本金・基本金	3,000千円	うち市の出資・出捐金	2,000千円	市出資・出捐割合	66.7%
市出資出捐金額の根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律153条2項に定められた200万円を拠出している。				
市以外の主な出資者・寄付者					
名称	出資額(千円)	出資率(%)			
原町田観光組合	500千円	16.7%			
個人からの出資	500千円	16.7%			
市の損失補償	0千円	市の借入保証	0千円		

## 3. 財務状況

### (1) 貸借対照表

単位:千円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	対前年増減比	備考 ※増減の理由等
総資産	159,572	172,035	151,854	▲ 11.7	
流動資産	156,572	168,516	148,854	▲ 11.7	
流動資産以外の資産	3,000	3,519	3,000	▲ 14.7	
負債	82,175	93,567	89,175	▲ 4.7	
流動負債	77,856	85,893	79,600	▲ 7.3	
固定負債	4,319	7,674	9,575	24.8	
うち借入金	0	0	0	0.0	
正味財産合計	77,397	78,468	62,679	▲ 20.1	
一般正味財産	74,397	75,468	59,679	▲ 20.9	

### (2) 正味財産増減計算書

単位:千円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	対前年増減比	備考 ※増減の理由等
経常収益	503,337	494,658	562,696	13.8	
うち市補助金	19,700	19,400	19,100	▲ 1.5	
うち市委託料	117,144	117,406	121,766	3.7	
うち市指定管理料	35,000	36,000	36,000	0.0	
経常費用	502,835	492,278	570,408	15.9	
経常損益	503	2,380	▲ 7,712	▲ 424.0	コロナ影響による利用者減のため
特別利益	0	0	0	0.0	
特別損失	0	0	0	0.0	
当期損益(税引後)	▲ 587	1,072	▲ 7,789	▲ 826.6	コロナ影響による利用者減のため

※各団体が準拠すべき会計基準等により、下記のとおり読み替える。

[会社法人]経常収益→売上高(又は営業収益)+営業外収益 経常費用→売上原価+販売費+一般管理費+営業外費用

[公益法人]経常収益→一般正味財産増減の部の経常収益 経常費用→一般正味財産増減の部の経常費用

特別利益→一般正味財産増減の部の経常外収益 特別損失→一般正味財産増減の部の経常外費用

当期損益→当期一般正味財産増減額

[社会福祉法人]経常収益→サービス活動収益+サービス活動外収益 当期損益→当期活動増減差額

[土地開発公社]経常収益→事業収益+その他経常収益 経常費用→事業原価+販売費及び一般管理費+その他常費用

(3)財務指標

単位:%

項目	2018年度	2019年度	2020年度	備考 ※増減の理由等
① 自己資本比率〔純資産/資産×100〕	48.5	45.6	41.3	
② 借入金依存度〔借入金負債/資産×100〕	0.0	0.0	0.0	
③ 流動比率〔流動資産/流動負債×100〕	201.1	196.2	187.0	
④ 経常収支比率〔経常収益/経常費用×100〕	100.1	100.5	98.6	
⑤ 当市補助金比率〔市補助金/経常収益×100〕	3.9	3.9	3.4	
⑥ 当市貸付金比率〔市貸付金/資産×100〕	0.0	0.0	0.0	
⑦ 当市委託料比率〔市委託料/経常収益×100〕	23.3	23.7	21.6	
⑧ 当市指定管理料比率〔市指定管理料/経常収益×100〕	7.0	7.3	6.4	

※②の借入金には、当市貸付金も含まれます。

(4)当該団体への財政的支援

単位:千円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	備考 ※増減の理由等
① 補助金(助成金)・交付金・負担金	19,700	19,400	19,100	
② 利子補給金	0	0	0	
③ 貸付金残高	0	0	0	
④ 損失補償・借入保証契約に係る債務残高	0	0	0	
(参考)委託料	117,144	117,406	121,766	
(参考)指定管理料	35,000	36,000	36,000	

【補助金】※特定の補助対象者となっているもののみ記載

①	補助金名	一般財団法人まちだ観光協会補助金		
	補助金の内容	町田市の観光の振興に寄与することを目的とし、協会の運営及び協会がその本来の目的を達成するために実施する事業等に要する経費の一部を補助することにより、協会の運営		
	補助金の積算根拠	補助対象事業に要する対象経費(協会に専従する職員の人件費、協会の運営に要する経費、事業の実施に要する経費)の3分の2以内の額とする。		
	補助額(千円)	2018年度 11,000	2019年度 11,000	2020年度 11,000

(参考)【委託】※特命随意契約によるもののみ記載

①	委託名(随意契約)	まちだの名産品イベント事業委託		
	委託の内容	毎月1回開催しているまちだの名産品イベント事業の委託料である。		
	随意契約の理由	当協会は、町田市の観光の振興の寄与のため設立された団体であり、まちだの名産品のPRを目的とする本業務の担い手として最適であることから随意契約を行っている。		
	委託料(千円)	2018年度 2,800	2019年度 2,700	2020年度 2,900

(参考)【指定管理】※非公募によるもののみ記載

①	指定管理施設名	町田市観光産業センター		
	指定管理の内容	町田市観光産業センターの施設管理、使用許可		
	非公募の理由	団体の設立趣旨や、市と財団が区分所有する建物の排水、空調及び電気設備等の共有設備の保守は一棟管理が不可欠であるため。		
	指定管理料(千円)	2018年度 35,000	2019年度 36,000	2020年度 36,000

(5)当該団体へのその他支援の内容(公有財産の使用許可等)団体の活動に必要な資産の状況

区分	所有形態	内容(建物名称、取得経緯、公有財産使用許可理由など)
土地	公有財産	町田市観光産業センター:使用許可
建物	公有財産	町田市観光産業センター:使用許可
設備	自己所有	車両等

## (6)その他

① 適用会計基準等の状況				
適用会計基準	新公益法人会計基準(平成20年改正基準)			
財務諸表の確認	公認会計士、税理士による確認を受けている			
② 経営環境の変化に関する今後の見通し				
外部要因によるもの	2016年度に町田市観光案内所が開館したことで、事業展開に当たり運営・管理を連携して行うことにより相乗効果や経費削減を見込めるようになった。			
内部要因によるもの	町田市観光案内所の開館に伴い、プロパー職員を増員した。			
③ 資産運用の方針と状況				
基本財産は全て定期預金として現金保有している。運用資産については現在保有していない。資産運用については規定に基づき適正かつ効率的に運用している。なお、有価証券や仕組債は保有していない。				
④ 引当金の状況				
	名称	内容	規程有無	残高(千円)
①	退職給付引当金	職員が退職した場合に給付する費用の積立金	有	3,934
②				
③				
⑤ 収支の改善に向けた取り組み ※補助金が削減された場合の方策を含む				
収入増加の方策と実施状況	収入の安定化を図るため、会員数の確保と増加に引き続き努めるほか、有料事業を拡大することによって更なる収入増加を図る。			
経費削減の方策と実施状況	経費削減の取り組みとして、町田市観光協会との連携による事業の効率化を図った。前年度比で10.3%削減の効果が上がっている。			

## 4. 役職員数

単位:人

項目	2018年度	2019年度	2020年度	備考 ※増減の理由等
役員	12	12	11	
理事・取締役	9	9	8	退任後、未選任のため
うち市あて職	2	2	2	
監事・監査役	3	3	3	
うち市あて職	0	0	0	
正職員	5	5	5	
うち市からの派遣	0	0	0	

5. 主要事業の内容と評価

事業名		事業内容		
観光まちづくり推進事業		市民が主催(企画)あるいは参加する機会を提供することで、内外の多様な人々との交流を図ることを目的とする。		
① 事業費 (単位:千円)		2018年度	2019年度	2020年度
		30,000	31,000	30,000
指標:観光入込客数 (単位:万人)		2018年度	2019年度	2020年度
	目標	515	529	542
	実績	463	413	350

事業名		事業内容		
情報発信事業		企画内容などの情報を提供することで、内外の多様な人々との交流を図ることを目的とする。		
② 事業費 (単位:千円)		2018年度	2019年度	2020年度
		2,500	2,500	2,800
指標:協会ホームページ の 訪問者数(単位:千人)		2018年度	2019年度	2020年度
	目標	274	284	300
	実績	280	147	165

団体の自己評価	
<p>各事業における実績は横ばいで、毎年度一定の来場者があり、市民活動が活発に行われていたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、2~3月中は閉館し、事業を提供することができないことにより、減少した。主催事業についてはいずれも安価な料金でイベントを提供し、来場者から満足を得た。地域文化の向上及び青少年の育成に貢献したと認識している。</p>	
市所管課の評価	
<p>2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数等が減少したが、新たな手法によるイベントの提供などを検討し、引き続き入込客数を確保してほしい。無料事業だけではなく、有料事業の増加に努めることが収益確保の観点からも重要である。</p>	
同様の役割を担う類似団体や企業の存在の有無	
<p>市内の市民団体や商工会議所との協働で各種のイベントを実施できるスキルと実績を持つ団体は他にないと考えている。</p>	

6. 当該団体への監査、外郭団体監理委員会による評価の結果※直近3ヵ年。ただし、未対応のものは除く。

(1) 指導監督の実施状況

四半期ごとに公認会計士との月次決算報告に立ち合い、支払い等が問題なく行われているか確認している。また、総務部長が理事に就任することにより、理事会への意思決定に関与している。総務課職員が定期連絡会やまちだの名産品イベントに出席している。

(2) 外郭団体監理委員会の評価結果

意見内容	改善状況	
	改善の内容及び今後の方向性	進捗状況
① 公募によらず財団を指定管理者として選定する理由を精査した結果と今後の選定方法について検討されたい。	財団の設立趣旨に加え、市と財団が区分所有する建物の排水、空調及び電気設備等の共有設備の保守は一棟管理が不可欠であることから、非公募としている。同事例の施設管理方法について研究し、財団と最適な施設管理方法について協議した結果、今後も同様の理由から、町田市観光産業センターが指定管理者となるのが適当との結論となったため、非公募による選定を続けることとする。	2021年度完了
②		

(3) その他外部監査の評価結果

**【2020年度町田市包括外部監査】**

(1) 協会が公益性と住民サービスの向上を図るための適切な収益構造のあり方と、市の補助金交付のあり方について整理するように助言・提案を受けた。  
市では観光施策における財団との役割分担と財源の考え方にに基づき、公益的事業、共益的事業、収益事業の区分に応じた事業見直しを実施し、2021年度事業計画書・予算書に反映した。

7. 市所管課所見(現状と課題、今後の取り組み、外郭団体の必要性)

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数等が減少し、マイナス損益となってしまったため、従来の手法で実施するだけでなく、新たな手法によるイベントの提供などを検討し、入込客数を確保してほしい。収益確保の観点から、無料事業だけでなく、有料事業の増加に努めてほしい。  
また今後、企画・総務・広報を担当する部会を作り、それぞれの部会を副会長が中心となって運営していくという体制を構築しようと検討している。新しい体制等工夫していくことで、これまで以上に主体的な協会運営をしていくことを期待する。  
さらに、2020年6月に策定した「町田市観光まちづくり基本方針」に基づく事業を展開することで、観光入込客数や観光消費額等の数値目標を達成することを期待する。

【注記】

1. 金額について、千円未満の数値については、四捨五入しています。
2. 複数の欄の合計値を他の項目の数値と一致させる必要がある項目については、四捨五入を行ってずれが生じてしまう場合、適宜端数調整を行っています。